

目次

Ⅱ. 大分大学の理念及び目標

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 大分大学の理念と目標 | 2. 中期目標および中期計画 |
| 1.1 理念 | |
| 1.2 目標および方針 | |
| 1.3 各学部・研究科における理念 | |

Ⅱ. 大分大学の理念及び目標

1. 大分大学の理念と目標

1.1 理念

大分大学は、平成 16 年に大学憲章を定め、その設置目的および基本理念を資料 1.1-1 のように設定している。

資料 1.1-1 大分大学の設置目的および基本理念

設置目的：大学の教育研究に対する国民の要請にこたえとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準の向上と均衡ある発展を図るため、教育、福祉、医療、環境、産業経済、科学技術などに関する教育・研究の充実を図り、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与すること。「国立大学法人大分大学法人規則」より抜粋

基本理念：人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与する。大分大学憲章より抜粋

1.2 目標および方針

大分大学は、基本理念に基づき、教育、研究、社会貢献、運営の 4 つの分野の目標及び指針を定めている（資料 1.2-1）。

資料 1.2-1 大分大学の目標及び指針

教育の目標

- ① 大分大学は、学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成する。
- ② 大分大学は、ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成する。
- ③ 大分大学は、高い学習意欲を持ち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成する。

研究の目標

- ① 大分大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、知的成果を大分の地から世界へ発信する。
- ② 大分大学は、広い分野の学際的な研究課題に対して、総合大学の特性を活かし、学の融合による新たな学問分野の創造を目指す。

社会貢献の目標

<p>① 大分大学は、地域拠点大学として、教育・研究・医療の成果を地域社会に還元することにより、地域社会との連携と共存を図り、その発展に貢献する。</p> <p>② 大分大学は、国際的な拠点大学として、広く世界に目を向けて交流を進める。特に、アジア諸国との特徴ある国際交流を推進する。</p>
<p>運営の方針</p> <p>① 大分大学は、自主的・自律的な教育研究と管理運営のもと、活動内容の継続的な質的向上を図るとともに、情報を積極的に公開し、社会への説明責任を果たすよう努める。</p> <p>② 大分大学は、社会と時代の変化に対応し得る、機能性に優れた柔軟な運営体制の構築を目指す。</p>

「大分大学憲章」より抜粋

1.3 各学部・研究科における理念

各学部・共用施設等における理念等は、大学憲章に基づいて定められている。各学部及び福祉社会科学研究科の理念あるいは目的を資料 1.3-1 に示す。独立研究科である福祉社会科学研究科を除き、各研究科の理念はそれぞれその学部のもと同じである。

資料 1.3-1 各部局における理念・目標

区分	種別：内容
教育福祉科学部	理念：教育・人間福祉を基盤とする教育・研究を推進し、地域の教育・社会文化の発展に寄与するとともに、人間福祉の視点に立つ資質の高い教員、使命感をもって福祉分野に携わる人材、国際化・情報化に対応する専門的知識を創造的・総合的に活用できる人材を養成し、豊かな共生社会の実現に貢献する。
経済学部	教育研究の基本方針：情報化と国際化が急速に進展する 21 世紀を展望し、多様化した社会的ニーズに積極的に対応するため、本学部は、経済にかかわる専門知識を広く教育・研究するとともに、地域に根ざす高等教育研究機関として、経済や企業活動を軸にした地域社会の分析や地域政策などに関する教育研究を組織的に進め、社会の次代を担う人材を養成する。
医学部	理念：最新の学術を教授・研究し、高度の医学及び看護学の知識と技術並びにそれらの本義を見失わない道徳観と、それを支える豊かな教養を身につけた医療人及び研究者を育成し、もって医学及び看護学の進歩、国民健康の維持増進、さらに医療・保健を中心に地域及び国際社会の福祉に貢献する。 また、「患者本位の最良の医療」を基本理念とし、高度先進医療の開発と提供及び倫理観豊かな医療人の育成により地域社会の医療・福祉の向上に貢献する。
工学部	理念：世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、個性豊かで創造性あふれる人材を養成する。
福祉社会科学研究科	目的：深い人間理解を踏まえ、国家・地域社会・企業などが「福祉社会」の形成に果たす役割を科学的に究明していくという基本的視点に立って、社会福祉学を基盤として、社会学・法学・経済学・教育学などの社会科学の立場から「福祉」を総合的・多角的に捉えた教育

研究を推進します。

2. 中期目標および中期計画

(現状)

大分大学は、平成16年度からの6年を1期とする中期目標およびその達成のための中期計画を策定した。本中期計画は多数の項目（225項目）から成り、実行すべき必要な項目を盛り込んだ計画を年度毎に作成して完遂することでPDSCAを推進している。平成20年度計画は、前年度の業務実績に基づいて、教育、研究、医療、社会連携、業務運営、財務、自己点検等の多領域に亘る項目で構成されている。（資料R2.1-2）。

(評価)

平成20年度計画は中期計画に基づいて作成されており、本学における課題を網羅している。